

2021年度第3回 鋼構造運営委員会 議事録

1. 日時 2021年12月10日(水) 13:30~16:00
2. 場所 オンライン開催 (Zoom)
3. 出席者 五十嵐規矩夫, 岡崎太一郎, 聲高裕治, 石田交広, 石原直, 井戸田秀樹,
(敬称略) 宇佐美徹, 尾崎文宣, 越智健之, 兼光知己, 吉敷祥一, 木村祥裕, 窪田伸,
桑原進, 向野聡彦, 澤本佳和, 竹内徹, 田中剛, 津田惠吾, 成原弘之, 西山功,
原田幸博, 見波進, 山田哲, 山田丈富, 村上行夫 (記録)
下線: 欠席者
4. 資料 (ストレージサーバ)
 - 03-01 議事予定 (五十嵐主査)
 - 03-02 2021年度第2回鋼構造運営委員会議事録案 (村上幹事)
 - 03-03 構造本委員会関係 (五十嵐主査)
 - 03-04 座屈小委員会資料 (木村委員)
 - 03-04-02 座屈に関する諸問題 2022 査読意見&回答書 (木村委員)
 - 03-05 接合小委員会資料 (桑原委員)
 - 03-06 素材小委員会資料 (見波委員)
 - 03-07 次世代設計規準検討小委員会資料 (山田委員)
 - 03-08 各種合成構造指針改定小委員会資料 (吉敷委員)
 - 03-09 環境小委員会資料 (岡崎委員)
 - 03-10 塑性設計小委員会資料 (聲高委員)
 - 03-11 軽鋼構造設計施工指針改定小委員会資料 (竹内委員)
 - 03-11-01 小委員会第3回議事録 (竹内委員)
 - 03-11-02 重点審議用原稿 (竹内委員)
 - 03-11-03 追加委員申請 (竹内委員)
 - 03-11-04 小委員会第4回議事録 (竹内委員)
 - 03-12 耐火設計小委員会資料 (尾崎委員)
 - 03-13 鋼管トラス構造設計施工指針改定小委員会資料 (越智委員)
 - 03-14 (欠番)
 - 03-15 (欠番)
 - 03-16 学会図書への質疑に対する回答状況一覧 (聲高幹事)
 - 03-17 2022年度大会 PD 資料 (五十嵐主査)
 - 03-18 今年度若手優秀発表賞 (岡崎幹事)
 - 03-19-01 重点審議履歴 (五十嵐主査)
 - 03-20 2022年度小委員会予算原案について (五十嵐主査)
 - 03-21 日本建築構造技術者協会からの申請書一式 (五十嵐主査)
 - 03-22 2022年度大会研究協議会についてのお願い (五十嵐主査)

5. 議事内容

(1) 前回議事録の確認

- ・ 資料 03-02 に基づき、2021 年度第 2 回の議事録案を確認した。
- ・ 「次世代設計規準検討 WG」→「次世代設計規準小委員会」へ訂正。「各種アンカーボルト設計指針」→「各種合成構造設計指針」へ訂正。
- ・ その他については承認された。

(2) 構造本委員会の動き

- ・ 資料 03-03 に基づき、2021 年度第 2 回構造本委員会の概要について、五十嵐主査から説明があった。

(3) 小委員会・WG等の報告

- ・ 資料 03-04～03-15 に基づき、各小委員会・WG等の担当委員から活動報告があった。

座屈小委員会（資料 03-04 木村委員）

- ・ 10/6 に小委員会を開催。「座屈に関する諸問題 2022」に関する査読対応中。
- ・ 運営委員会への査読対応が完了。資料 03-04-02 により査読回答内容の紹介があった。
- ・ 12/13 の週に構造委員会へ原稿提出予定。刊行予定は 2022 年 11 月に変更。

接合小委員会（資料 03-05 桑原委員）

- ・ 11/6 に小委員会を開催。次回は 3/5 開催予定。溶接接合設計施工ガイドブック改訂のための WG を「改訂 WG」から「改訂原案作成 WG」に名称変更。
- ・ WG メンバーとして、小早川氏（日本設計）、稲田氏（駒井ハルテック）、山田氏（日本ファブテック）、辻氏（ジャスト）の 4 名を追加。

素材小委員会（資料 03-06 見波委員（代理：山田丈富委員））

- ・ 9/27 に小委員会および鋳鉄検討 WG を開催。次回は 12/13 開催予定。引続き刊行物の執筆内容に関して討議中。
- ・ 鋼素材のデータベース作成の開始を予定している。
- ・ 鋳鉄に関する検討は本年度に目途がつくので、鋳鉄検討 WG は本年度で廃止予定。

次世代設計規準検討小委員会（資料 03-07 山田哲委員）

- ・ 本年度大会 PD の報告資料（建築雑誌掲載用）を作成。
- ・ 寺嶋氏（日鉄エンジ）から脇田氏（日鉄エンジ）へ委員交代。

各種合成構造設計指針改定小委員会（資料 03-08 吉敷主査）

- ・ 9/13、11/22 に小委員会および指針改定 WG を開催。引続き指針改定作業中で、小委員会内の査読を行った。
- ・ 運営委員会での査読は成原委員、山田丈富委員が担当。ストレージに原稿をアップしたので確認して頂きたい。査読の締切は 1 月末とし、査読意見はストレージにアップする。

環境小委員会（資料 03-09 岡崎委員）

- ・ 11/15 に小委員会を開催。次回は 2/24 開催予定。環境配慮設計指針をまとめた英語論文を、10 月に Journal of Structural Engineering へ投稿した。

- ・ 指針改定方針に関して具体的な議論を始めた。” 囲み” を付けた指針（案）の章構成を検討中。

塑性設計小委員会（資料 03-10 聲高委員）

- ・ 9/1、11/1 に小委員会を開催。引続き指針改定（第4版）に向け内容検討中。
- ・ 9/1（第2回）：「接合部パネル」、「柱脚」に関する重点審議を行った。
- ・ 11/1（第3回）：「板要素」、「柱」に関する重点審議を行った。
- ・ 3/2 に「ブレース接合部」に関する勉強会を開催予定。（運営は近畿支部鉄骨構造部会が担当）
- ・ ブレース接合部の繰返しによる破断に関する検討は行っているか？
⇒課題認識はあり、小委員会内で議論中。

軽鋼構造設計施工指針改定小委員会（資料 03-11-1～4 竹内委員）

- ・ 9/21、11/29 に小委員会を開催。改定原稿に関して討議中。委員として金箱氏を追加。
- ・ 今年度中に小委員会査読，2022 年度中に構造委員会査読，2023 年 9 月刊行の予定。
- ・ 運営委員会の査読者として、尾崎委員、石田委員が担当することになった。

耐火設計小委員会（資料 03-12 尾崎委員）

- ・ 9/17、12/10 に小委員会を開催。引続き指針改定内容に関して討議中。
- ・ 防火区画、柱継手、床メンブレン、ワイヤーロープ等の研究成果を共有。
- ・ 今後、2022 年度に予定しているシンポジウム開催に関しても検討していく予定。

鋼管トラス構造設計施工指針改定小委員会（資料 03-13 越智委員）

- ・ 9/16、21 に小委員会を開催。引続き指針改定内容を議論中。
- ・ 3 章の分岐継手の設計耐力、4 章の分岐継手の疲労関連に関して討議。

鋼構造限界状態設計指針改定検討 WG（資料なし 井戸田委員（代理：五十嵐主査））

- ・ 12 月から正式に WG として活動開始。運営委員会への報告事項は特になし。

災害委員会等（資料なし 井戸田委員（代理：五十嵐主査））

- ・ 災害委員会から運営委員会への報告事項は特になし。

(4) 学会図書質疑回答の報告

- ・ 資料 03-16 に基づき、聲高幹事より質疑回答の状況報告があった。

(5) 2022 年度大会 PD 資料について（資料 03-17 五十嵐主査）

- ・ 2022 年度大会 PD 案については構造本委員会で承認された。3 日目の午前が第 1 候補。
- ・ 軽鋼構造小委員会の方で準備を進めて頂きたい。

(6) 2021 年度大会若手優秀発表賞について（資料 03-18 五十嵐主査）

- ・ 受賞者は HP へアップ済み。
- ・ 表彰状が本人へ届くのが 1 月頃という事情も鑑み、HP の掲載内容に関して、受賞日の見直し等をしてはどうか。 →見直しが可能か事務局へ要確認。
- ・ 若手優秀発表賞に関しては、来年度も今年度と同じ要領で進める。

(7) 重点審議（資料 03-11-02 竹内委員）

- ・ 資料 03-11-02 により軽鋼構造小委員会から指針改定原稿案の説明があった。
- ・ 説明内容に関して以下の討議があった。
 - 基準法に則った内容であれば、行政側も受け入れやすいと思う。学会指針の軽鋼構造と告示の薄板軽量形鋼造が存在するが、薄板軽量形鋼造は 2x4 代替の鉄骨造なので、両者で異なるところが多い。そこをどうやって整合を取っていくかは考えられているか？
 - ドリルねじに関して、2x4 的な使用ではせん断しかかからない形で使われる。軽鋼構造で使っていていいとすると薄い部分でパンチングが起きるのではないか。この点の記述はあるか？
 - ドリルねじをスチールハウス以外の構造にどこまで使っていていいのかという議論はある。主体構造にはドリルねじは使わないということと、ドリルねじは終局耐力と許容耐力にあまり差がないので現実的な設計では保有耐力接合は難しいという点で規制がかかっている
 - ルート 1 で設計する場合は保有水平耐力計算をしなくていいので、その場合はドリルねじも使えるようになっている？
 - 指針ではドリルねじは 6mm まで使えるように記述しているので、薄い部分で不具合が起こらないよう検討していきたい。
 - 今回の改訂で薄板軽量形鋼造が入るということだが、薄板軽量形鋼造の銀色本(告示本)の内容がそのまま反映されるのか？
 - 現状の学会指針は板厚 2.3mm までなのでスチールハウスは対象外。銀色本はスチールハウスを対象とした本。今回の改訂はこれらを両方反映したものとなっている。そのため、先程のドリルねじの使用に関する指摘など、気付き点があればあげてほしい。
- ・ 後日、気付き点等があればメール等で連絡のこと。

(8) 2022 年度小委員会予算原案について (資料 03-20 五十嵐主査)

- ・ 2022 年度の鋼構造運営委員会の配分予算は 340 万円が予定されている。
- ・ 各小委員会への配分案が提示された。

(9) 転載申請 (日本建築構造技術者協会 JSCA) について (資料 03-21 五十嵐主査)

- ・ JSCA よりセミナーの講義用教材へ学会指針類の図表(計 19 点)に関する転載申請があった。運営委員会として承認。

(10) 2022 年大会における研究協議会「性能規定化から 20 年・その現状と未来」の登壇者について (資料 03-22 五十嵐主査)

- ・ 鋼構造からは山田哲委員へ登壇をお願いすることとなった。

(11) 2021 年度大会研究集会資料の会員限定無償公開について

- ・ 本年度大会の研究集会資料は、1 年間公開しない。

(12) 委員委嘱のメール審議について

- ・ 委員委嘱等に関する審議について、運営委員会の開催を待たず、月に1回程度のメール審議を活用する。
- ・ 小委員会から委嘱・解嘱対象の委員情報を主査、幹事へ連絡（月末締め）→1週間程度でメール審議→10日頃に事務局へ連絡→本委員会へ諮る。

6. その他

次回運営委員会 3/18（金）13：30～17：00 オンライン開催

次回重点審議 各種合成構造設計指針改定小委員会

以上